

令和元年度（第118回）  
兵庫県大学図書館協議会総会議事要録（案）

日 時： 令和元年7月26日（金）午後1時30分～午後4時10分  
場 所： 園田学園女子大学 5号館（30周年記念館）3階大会議室  
参加者： 32大学 41名

1. 開 会 当番館（園田学園女子大学 榊井課長）の司会により開会
2. 当番館挨拶 園田学園女子大学 中野博文 副学長、  
浜口 尚 図書館館長
3. 会長館挨拶 神戸大学 村上健治 附属図書館事務部長
4. 議長選出 園田学園女子大学 浜口 尚 図書館館長を選出
  
5. 報告事項
  - (1) 平成30年度事業報告について  
会長館（神戸大学）から、配付資料に基づいて報告があった。
  - (2) 大学図書館関係活動報告について  
会長館から、各団体の活動が紹介されているホームページのURLを配付資料に掲載している  
ので、直接参照してもらうよう説明があった。
  - (3) 2021年度以降の企画委員館選出方法の見直し及び「兵庫県大学図書館協議会規約」  
申し合わせの変更について  
会長館から、配付資料に基づいて報告があった。昨年度の第117回総会にて継続協議となっ  
たもので、1～2月にかけて加盟館に意見照会・意見集約を行った結果、全会一致にて承認さ  
れた。
  
6. 協議事項
  - (1) 姫路日ノ本短期大学の退会希望について  
会長館から、配付資料に基づいて説明があった。昨年12月に退会希望の連絡を受け、会長館  
として慰留につとめたが翻意叶わず、役員館・企画委員館で協議し、退会もやむなしと判断し  
たもの。退会について承認された。これに伴い加盟館数は42館となった。またあわせて、「夙  
川学院短期大学」の「神戸教育短期大学」への名称変更についても報告があった。
  - (2) 平成30年度決算報告について
  - (3) 平成30年度会計監査報告について  
会計担当館（関西学院大学）から決算報告について、配付資料に基づいて説明があった。引き  
続き監事館（武庫川女子大学）から会計監査結果について、適切に執行されている旨報告があ  
り、原案どおり承認された。
  - (4) 令和元年度事業計画（案）について  
研修事業担当館（神戸大学）から、配付資料に基づいて研修会の提案があり、原案どおり承認  
された。また企画委員会（代表：神戸大学）から、配付資料に基づいてその他の事業計画につ  
いて説明があった。
  - (5) 令和元年度予算（案）について

会計担当館から、配付資料に基づいて説明があり、原案どおり承認された。

(6) 令和2年度(第119回)総会当番館について

企画委員会から、兵庫教育大学を候補館とする企画委員会提案が示され、承認された。開催は今年度同様7月最終週で考えている。

7. 承合事項

承合事項について、総会資料の冊子とは別に「承合事項」の冊子が配付されている旨、議長より説明があった。

事前に照会していた承合事項は以下の3点である。

- 1) 障がい(身体障がい・発達障がいを含む)のある利用者への支援の取り組みについて
- 2) 災害・経年劣化等による資料の損傷(例:ｶﾞ 被害、マイクロフィルムの酢酸化等)に対する取り組みについて
- 3) 書庫スペースの狭隘化に対する取り組みについて

回答内容について、はじめに会長館から概要の説明があった。また後日、

- 4) 現在実施中の授業連携について(甲子園大学)
- 5) 学生への利用促進につながる取り組みなど(頌栄短期大学)

以上2件の承合事項提案があり、7月9日付で加盟館に連絡した旨の報告があった。

休憩を挟んで、質疑応答と事例報告が行われた。

(1) 障がい(身体障がい・発達障がいを含む)のある利用者への支援の取り組みについて

- ・ 「学生課スーパーバイザー」について、大手前大学・大手前短期大学から報告があった。
- ・ 「キャンパス自立支援室」との連携「プレキャリア教育支援プログラム」の図書館業務実習について、関西学院大学から報告があった。
- ・ 紐で吊した開閉館表示、首から提げた名札への対応について、神戸山手大学・神戸山手短期大学から事例の報告があった。
- ・ 全盲学生への資料収集支援、盲導犬の入館対応について、神戸女子大学・神戸女子短期大学から事例の報告があった。

(2) 災害・経年劣化等による資料の損傷(例:ｶﾞ 被害、マイクロフィルムの酢酸化等)に対する取り組みについては個別の事例報告は行わず、事務局から10月18日の研修会について補足案内を行った。

(3) 書庫スペースの狭隘化に対する取り組みについて

- ・ 学外の書籍用倉庫について、大手前大学・大手前短期大学から事例の報告があった。
- ・ 館外書庫について、関西学院大学から事例の報告があった。

(4) 現在実施中の授業連携について

(5) 学生への利用促進につながる取り組みなど

(4)(5)はまとめて情報交換する旨議長から提案があり、甲子園大学、頌栄短期大学から提案理由の説明があった。続いて、事務局から欠席館(神戸海星女子学院大学、神戸芸術工科大学、芦屋大学)の回答を紹介した。その後、神戸学院大学、甲南女子大学、神戸山手大学・神戸山手短期大学、湊川短期大学から事例の報告があった。

以上